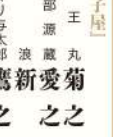


令和6年
3月3日(日) 初日
26日(火) 千秋楽
《休演》11日(月) 18日(月)



製作
松竹



三月大歌舞伎

中村歌昇 坂東新悟 中村種之助 中村鷹之資 尾上左近 中村玉太郎 大谷廣松 大谷廣太郎 中村萬太郎 中村梅枝

二喜 六歌仙容彩

通し狂言
伊勢音頭恋寝刃
奥油太二地追宿相
見 蔵駈 の
庭屋講浦前け屋山

撰 清元連中 長門鴨子連中

夜の部 午後4時15分開演

三 御浜御殿綱豊卿
元禄忠臣蔵
真山青果 演出
真山美保 演出
中伊藤嘉明 美術
中嶋八郎 美術

二 傾城道成寺
四世中村雀右衛門十三回忌追善狂言
山中隆成 美術
長門鴨子連中

二 菅原伝授手習鑑
寺子屋

昼の部 午前11時開演

紙同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同所喜仲油藤油油母叔美銀網桑原杉油屋正理奴双杉山油屋正理奴双杉山油屋正理奴双...
梅吉小真亀左玉鷹種萬彦松権松魁雀又彌高市亀錦橘吉廣新歌舞彦愛菊幸
之川大三太之之太龜三松三寸春門郎郎蔵蔵鶴吾郎丞郎悟昇郎助助
枝丞晴秀郎近郎資助郎蔵郎江郎緑春門郎郎蔵蔵鶴吾郎丞郎悟昇郎助助

2月14日 [水] 10:00より 電話予約・Web受付開始

1等席	18,000円
2等席	14,000円
3階A席	6,000円
3階B席	4,000円
1階樓敷席	20,000円

歌舞伎座

〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15
東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅3番出口

チケットホン松竹 [10:00~17:00]
ナビダイヤル
☎0570-000-489 または 03-6745-0888
お電話番号のおかけ間違いには充分ご注意ください。
※窓口販売・お引取りは、2月16日 [金] 10:00より ※窓口販売用別枠でのお取置きはございません。
チケットWeb松竹 [24時間受付/発売初日は10:00から]
チケットWeb松竹 検索
チケットWeb松竹のお問合わせ
03-3545-2200 [10:00~17:00]

『寺子屋』忠義のはざまに揺れ動く人々の心

寺子屋を営む武部源蔵は、恩義ある菅丞相の子・菅秀才を我が子と偽り匿っています。しかし、そのことが敵方に知られてしまい、苦悩の末、寺入りしたばかりの子供の首を身代わりにして差し出すことを決意します。首の検分役は、菅秀才の顔を知っている松王丸。その首を検めた松王丸は…。

歌舞伎三大名作のひとつ『菅原伝授手習鑑』より、松王丸と千代、源蔵と戸浪、二組の夫婦の忠義と悲劇が色濃く描かれた『寺子屋』の名場面。緊迫感のある展開が続く、時代を超えて人々の胸を打つ不朽の傑作をご堪能ください。

『傾城道成寺』遊女の燃えるような恋の執着

紀伊国の古刹、道成寺。白無垢姿の傾城清川が忽然と現れると、僧の安珍と出会います。安珍は実は平維盛の世を忍ぶ仮の姿で、二人はかつての恋人同士。清川は恋の妄執に苦しむと…。

紀州道成寺に伝わる安珍と清姫の伝説をもとにした「道成寺物」の中でも、『京鹿子娘道成寺』とは異なり、清姫の霊が傾城として登場する趣向の作品です。数々の「道成寺物」を手掛けた四世雀右衛門の十三回忌追善狂言として、所縁の出演者で名女方を偲びます。古風で雅やかな舞踊をお楽しみください。

『御浜御殿』緊迫感みなぎる男二人の問答

江戸城松の廊下での刃傷事件から一年。次期將軍と目される徳川綱豊の別邸・御浜御殿では、今年も盛大にお浜遊びが行われています。政事には関心がないかのように振る舞う綱豊ですが、内心では浅野家の処遇について葛藤しています。そんな折、主君浅野内匠頭の仇である吉良上野介の動向を探る赤穂浪士、富森助右衛門が御浜御殿へやって来て…。

新歌舞伎の名作『元禄忠臣蔵』は、史実に基づいた新たな視点で「忠臣蔵」を描いた、真山青果の代表作のひとつです。昭和十五(一九四〇)年に初演された本作は、後に六代將軍・家宣となる聡明な綱豊と、気骨ある助右衛門によるせりふの応酬を通して、骨太な人間ドラマを魅せる人気の場面。華やかさと緊迫感みなぎる名作をご期待ください。

『伊勢音頭』賑やかな伊勢を舞台に妖刀が光る

伊勢神宮の神職である御師の福岡貢は、御家横領の画策に巻き込まれたかつての主筋、今田万次郎が紛失した名刀・青江下坂とその鑑定書の折紙の詮議に奔走します。貢と万次郎は、思いがけず二見ヶ浦で、万次郎を陥れようとする悪の一味の密書を手に入れます。そんな中、貢の養子先である御師の福岡孫太夫の屋敷では、正直正太夫が太々講の奉納金百両を盗んだ罪を、貢になすりつけようとしています。しかし、貢の探し求める青江下坂を持参した叔母のおみねがやって来たことで正太夫の計略が暴かれると、刀を受け取った貢は深い仲の遊女お紺と共に、古市の遊廓油屋にいる万次郎のもとへ急ぎますが…。

江戸時代に実際に起きた事件を題材とした本作は、伊勢の觀光地を随所に盛り込んだ趣向で、名刀と折紙を巡り、手に汗握る展開が繰り広げられます。この度は、万次郎が名刀・青江下坂と折紙を紛失する物語の発端を描く「相の山」から上演し、貢が万次郎と対面する「宿屋」、悪事の証拠となる密書を巡る「追駈け」「地蔵前」と、伊勢の名所の夫婦岩を背景とした「二見ヶ浦」の場面上演。喜劇的な場面であり、青江下坂の因縁が明かされる「太々講」と続き、ご存知「油屋」「奥庭」までを通し上演いたします。歌舞伎座での通し上演は、昭和三十七(一九六二)年以來、実に六十二年振り。柔らかなさの中にも芯の強さを持つ役柄「ぴんとこな」の典型とされる貢と、柔弱な色男の「つつころばし」の万次郎の対照的な姿、貢を助ける料理人喜助、本心を隠したお紺の愛想尽かし、奥庭での殺しの場面など歌舞伎ならではの様式美に溢れる人気作をお楽しみください。

『喜撰』軽妙な味わいの華やかな舞踊

桜の花が咲き乱れる京の東山。高僧と名高い喜撰法師が桜の枝を肩に担いで、ほろ酔い気分ですっきりと通ります。そこを通りかかった祇園の茶汲み女お梶の美しさに見惚れた喜撰法師は…。

「六歌仙」とは「古今和歌集」の撰者、紀貫之が挙げた優れた歌人のこと。その六人を題材とした『六歌仙容彩』のうち、名僧と茶汲み女の色事を軽妙洒脱に描いたユーモラスな舞踊です。洒落つ気溢れる一幕をご覧ください。

(令和六年三月)

お客様へのご理解とご協力をお願い

- ◎政府や関係省庁、自治体などの発表に基づき、公演内容や対策を変更する可能性がございます。ご観劇前に「松竹公式サイト」、歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」を必ずご確認の上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。
- ◎劇場内で係員の指示および注意事項に従わない場合や他のお客様への迷惑行為を確認した場合は、入場をお断りすることがあります。

場内サービスのご案内

- ◎ご観劇に関するお問い合わせ 歌舞伎座 03-3545-6800(代表)
- ◎切符売場 歌舞伎座地下2階木挽町広場にごさいます。営業時間は10:00~17:00まで(公演日は18:00まで延長)
- ◎切符預かり所 ご入場券のお預けは劇場正面向かって右側の窓口でお受けいたします。
- ◎お食事のご予約 「花籠」03-3545-6820(10:00~17:00) 2日前17:00まで / 「東京吉兆」03-3542-2450(11:00~17:00) 前日16:00まで
- ◎イヤホンガイド(日本語) ご使用料800円(一幕見席でのご利用は500円) お問い合わせ:株式会社イヤホンガイド 03-3546-0265
- ◎簡易版英語音声ガイド ご使用料1,000円(一幕見席でのご利用は800円) お問い合わせ:歌舞伎座 03-3545-6800(代表)

歌舞伎座 イベント託児サービスのご案内

ご予約・お問い合わせ先

株式会社マザーズ (イベント託児サービス委託会社)
マザーズ・フリーコール 0120-788-222 (平日 10:00~12:00/13:00~17:00)

■実施日 (3月公演分)

[昼の部] 3月6日(水)、15日(金)、21日(木)
[夜の部] 3月12日(火)、16日(土)